

## 2010 年 度 事 業 計 画

### 1. 学会活動の基盤の確立と活動の推進

生命・食糧・環境科学とその応用を担うわが国の中核学会として、本部活動と支部活動が一体となった学会活動の基盤を確立し、その活動を一層推進する。

- (1) 学会活動の基盤となる会員の増加をはかるとともに、会員の要望を学会活動に反映すべく努力する。
- (2) 農芸化学の研究領域の拡大に伴う研究・教育の多様化に対応し、本学会にふさわしい研究を推進するために、学会活動を活発にするとともに、そのための財政基盤の整備を図る。
- (3) 全国大会を開催し、全国の会員相互の交流と情報交換の場とするとともに、特に若手研究者の研究発表の場として活用する。
- (4) 支部活動を積極的に推進するため、支部と本部、支部相互の多方面にわたる連繫を密にし、支部における研究発表会、シンポジウム、講演会等を開催する。
- (5) 学会ホームページの一層の充実を図り、学会から会員への情報提供、会員相互間の情報交換などに役立つとともに、学会の社会への窓口として有効に活用する。また、ホームページ上での会員名簿の充実を図る。

### 2. 優れた研究の選考と表彰

農芸化学会会員の優れた研究として、日本農芸化学会賞、日本農芸化学会功績賞、農芸化学技術賞、農芸化学奨励賞を選考し、表彰する。また、関係諸団体の各種の賞についての選考を行い、推薦する。

### 3. 会誌の充実、報文の早期掲載

生命・食糧・環境分野の総合科学雑誌としての「化学と生物」、および、英文報文誌としての「Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry」を本学会会誌として編集・発行する。

- (1) 和文誌「化学と生物」は全会員送付会誌であることに鑑み、その内容のさらなる充実を図る。
- (2) 英文誌「Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry」(冊子体および電子版)は、外国人編集委員を活用するとともに、海外でのPR活動を積極的に行うことで、国際性のさらなる向上を図る。また、投稿論文の早期掲載に努め、英文報文誌としての質の向上を目指す。また、「論文賞」等により優れた論文を表

彰する。

### 4. 広報・普及活動の強化

広報委員会を中心として、学会の活動および会員の研究成果を広く社会に知らせるための体制を整える。

- (1) 高校生、大学生、社会人を対象として農芸化学分野の研究の進展と生活との関わりをテーマとするサイエンスカフェや講演会等を適時開催し、農芸化学への理解を深め、その普及を図る。
- (2) 学会の各種の広報活動を充実するとともに、紹介パンフレットなどの一層の充実を図る。

### 5. 学術活動の推進

学術活動強化委員会を中心とする多面的な学術活動の推進を図る。

- (1) 国際学術集会、藪田セミナー・講演会を開催補助する。
- (2) 主要な研究動向などをテーマとする「化学と生物シンポジウム」を開催する。
- (3) 若手研究者の相互交流と研究活動を奨励するため、農芸化学若手の会の活動を支援する。

### 6. 産学官交流の推進

産学官学術交流委員会を中心として、産・学・官の連繫のさらなる強化を図るとともに、農芸化学研究企画賞の継続・拡充を図る。

### 7. 新法人制度への対応

内閣府公益認定等委員会の助言を得つつ、定款案を確定し公益社団法人化を目指す。併せて財団法人農芸化学研究奨励会との合併も推進する。

### 8. 関連学協会等との連携

学会活動の推進に当たり、関連学協会等との連携を図り、情報交換を密にする。

- (1) 将来の学会活動の方向を検討するに際し、日本学術会議や日本農学会および関連諸学協会の活動と密接な連携を図る。
- (2) 農芸化学分野の拡大、発展と国際化の現状にのっとり、国際交流活動の一層の推進を図る。
- (3) 農芸化学関連の大学教育のさらなる充実のため、大学と密に情報交換すると同時に日本技術者教育認定機構(JABEE)と緊密に連携する。

## 2010 年度年間行事予定

年 月	行 事	北海道支部	東北支部	関東支部	中部支部	関西支部	中四国支部	西日本支部
10/4								
5	○和文誌編集委員会 ○理事会					29. 例会 (京府大)	7～8. 若手 シンポジ ウム (岡山大)	28. 例会 (アサヒビ ール)
6	○学術活動強化委員会 ○産学官学術交流委員会	19. 薮田セ ミナー (北大)		○例会 (筑波大)	○例会 (石川)		5. 例会 (広大)	
7	○広報委員会	23～24. 合 同講演会 (北大)				3. 例会 (阪府大)		10. 化学関 連支部九 州大会 (北九州)
8	○理事会 28. 学会賞, 功績賞, 農学 賞候補者推薦締切	○サイエ ンスカフ ェ (札幌)						
9	○役員選考委員会		○大会 (仙台)				24～25. 大 会 (香川大)	17～18. 大 会・シン ポジウム (崇城大)
10	28. 農化技術賞, 農化奨励 賞候補者推薦締切 ○理事会 ○評議員会 ○英文誌編集委員会			○大会 (千葉大)	○例会 (名古屋大)	2～3. 大会 ・シンポ ジウム (近畿大) 16. シンポ ジウム (京大)	○市民フ ォーラム (愛媛大)	
11	○授賞選考委員会 ○学術活動強化委員会 ○和文編集誌委員会				○若手シ ンポジウ ム (三重 大)			
12	○授賞選考委員会 ○産学官学術交流委員会					4. 例会 (神戸大)		
11/1	○理事会 ○評議員選挙 ○代議員選挙			○例会 (東大)			22. 例会 (徳島大)	22. 例会 (九大)
2						5. 例会 (京大)		
3	○理事会 ○評議員会 ○会計監査 25. 総会 26～28. 大会 (京都) ○学術活動強化委員会 ○英文誌編集委員会 ○和文誌編集委員会 ○広報委員会 ○産学官学術交流委員会							
開催時期未定		中・高校 生への出 前授業	シンポジウ ム(岩手), 市民フォー ラム(秋田) , サイエ ンスカフェ (山形)					フォーラ ム・サイ エンスカ フェ